



**事業計画及び
成長可能性に関する説明資料**
(2023年3月)

(3566) ユニフォームネクスト株式会社

目次

1. 会社概要
2. ビジネスモデル
3. 市場環境
4. 事業計画
5. 補足資料





会社概要

社名	ユニフォームネクスト株式会社
設立	1994年4月
代表者	代表取締役社長 横井 康孝
本社	福井県福井市八重巻町25号81番地
従業員数	社員数125人 2022年12月31日時点 平均臨時雇用者数107人 外数
経営理念	ワークライフをハッピーに！
事業内容	業務用ユニフォームの販売



経営理念

「ワークライフをハッピーに！」

ユニフォームの導入を通じた
お客様の業績向上を目的とし、

ECとしては例外的な
提案力、サービス、在庫管理などの内製化で
当社独自の価値を高め差別化。

日本中の企業と社員の
幸せなワークライフを目指します。





ビジネスモデル

業務用ユニフォームを専門に販売



サービス服



医療用白衣



事務服



作業服

サービス部門

- ・ 飲食店等の店舗スタッフが着用するサービスユニフォーム
- ・ 医療関係者が着用する白衣

フードユニフォーム

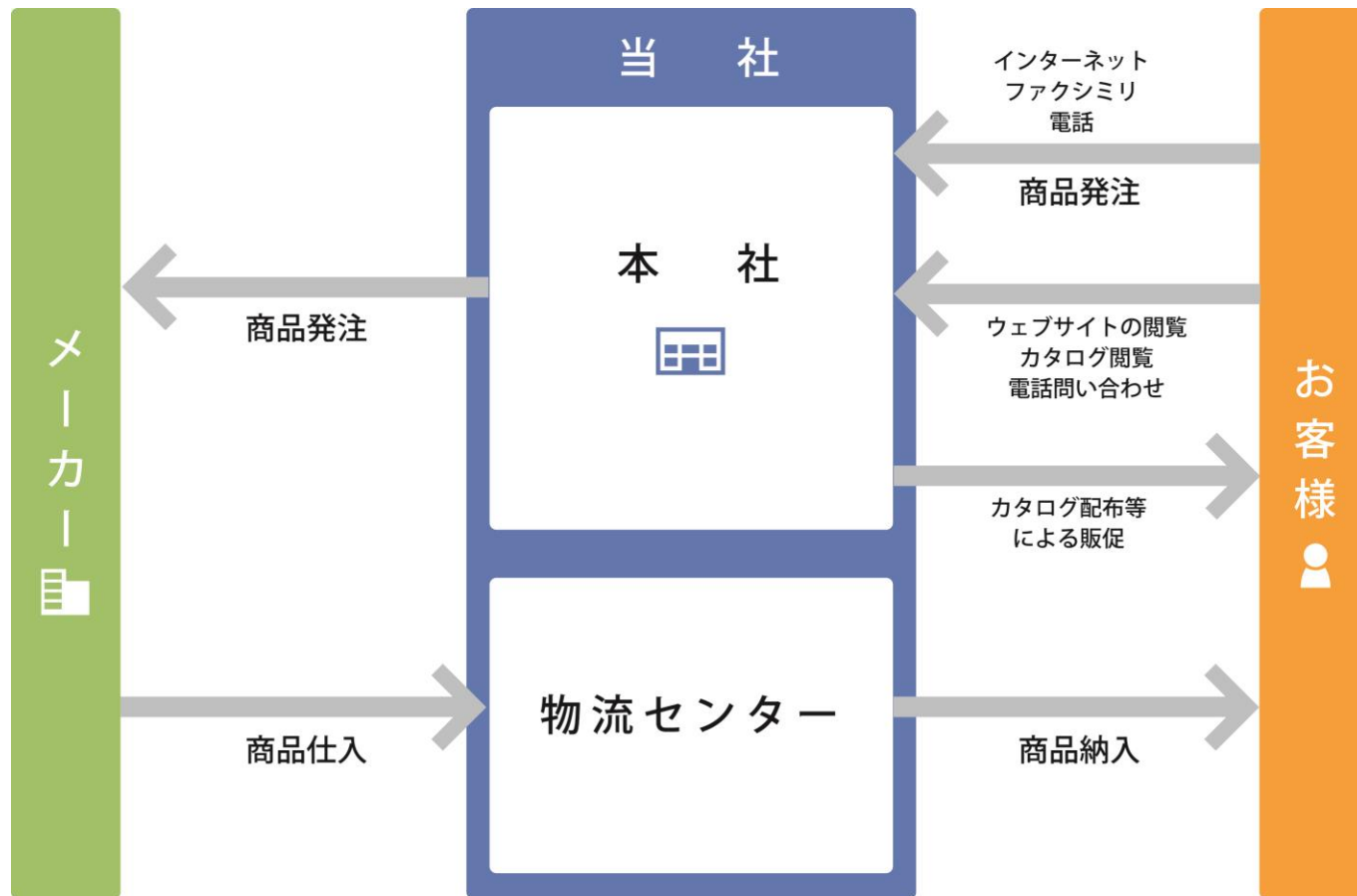
クリニックユニフォーム

オフィスワーク部門

- ・建設・製造会社の現場スタッフが着用する作業服
- ・事務職や受付の女性スタッフが着用する事務服

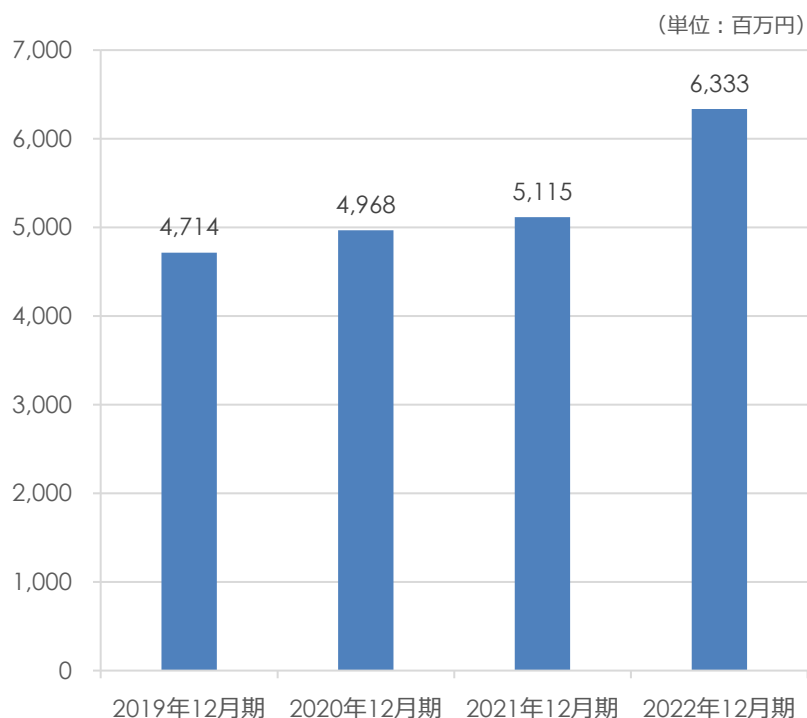
ワークユニフォーム

オフィスユニフォーム

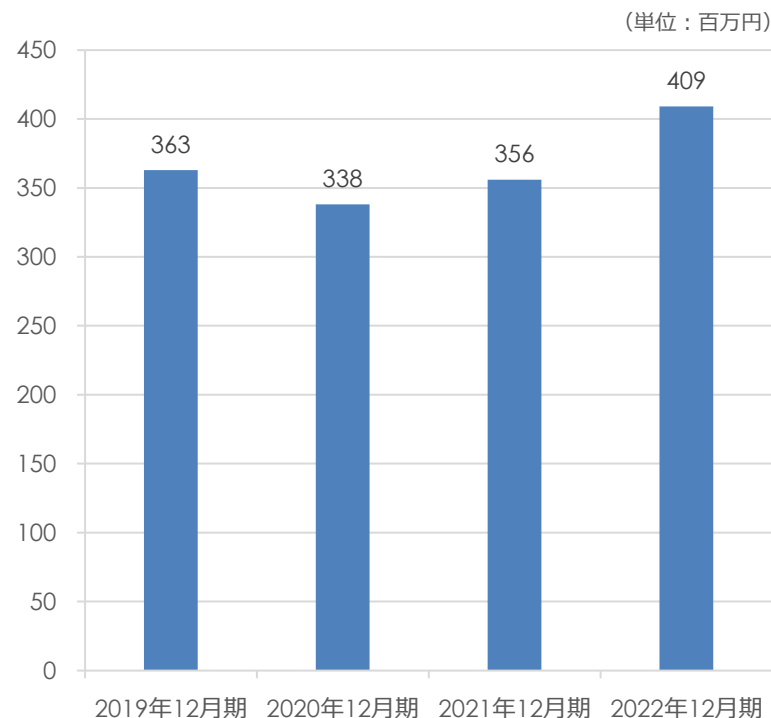


- ✓ 地域ごとの販売代理店制
- ✓ 販売代理店は、原則、商品在庫を持たない
- ✓ BtoCはショップ、BtoBは訪問販売業者が対応

■売上高

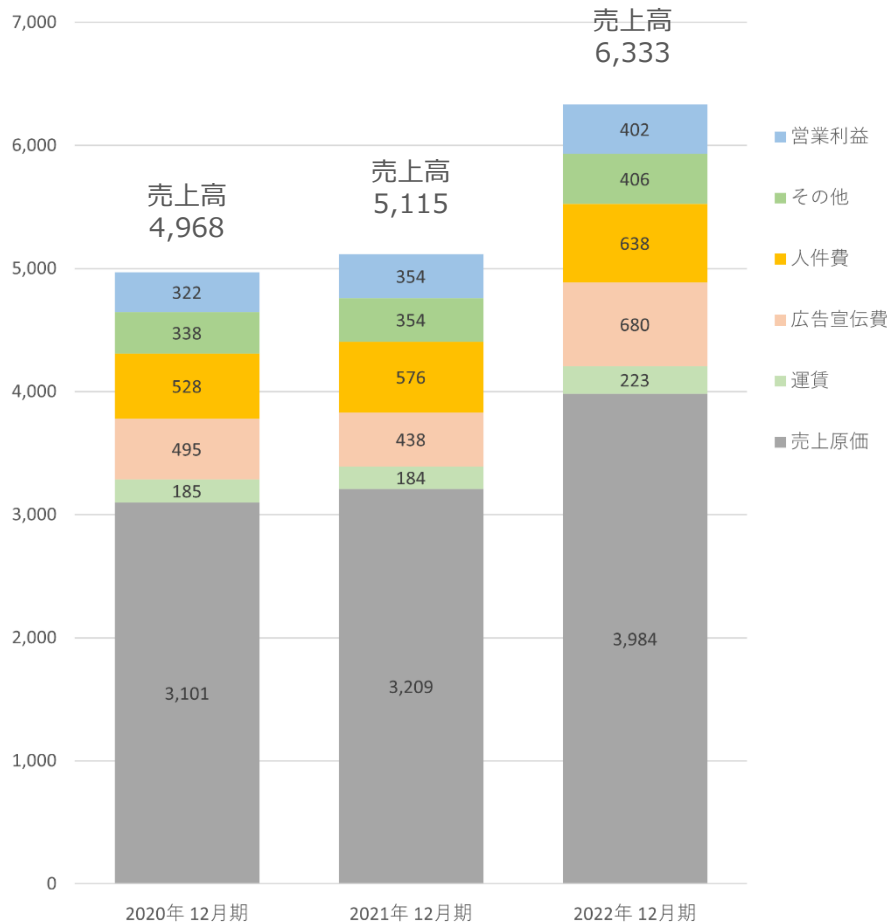


■経常利益



- ・これまでリピート顧客中心の販売により年15~18%の成長を継続。
- ・2020、21年はコロナ禍の影響と広告抑制により伸び悩んだが、市場シェア確保のため2022年は積極的な広告投資を行い増収。
- ・人件費、広告費の増加、新社屋やシステム導入による減価償却費増で利益成長は直近数年ペースダウン。
- ・2022年はWEB広告の積極投資により利益率がやや低下。

(単位：百万円)



収益構造について

原価率の異なるショップのプロダクトミックスにより、原価率が微増傾向。運賃は、2021年に法人受注に偏ったことで小口配送が減少。2022年は個人受注が持ち直したことで運賃比率は従前の水準に戻った。広告費はWEB広告とDMカタログで構成。WEB広告は2021年にターゲットを絞り込む効率化により削減したが、2022年は市場シェア拡大のための積極的投資により増加。人件費は受注システムの改修により効率化が図られコールセンター人員を中心に増員が抑制された結果、人件費率は低下。

2022年12月期は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れたこと、積極的な広告投資等により売上が大きく伸長。広告費以外の販管費の抑制により、増益となった。

今後の推移について

原価のプロダクトミックスによる上昇は2023年度で一定程度落ち着く。引き続きユニフォーム通販トップのシェアを更に拡大するため広告投資を積極的に行うが、売上広告比率はより抑えていく。その他販管費項目の比率を維持することで、結果、利益率は上昇していく。



市場環境

1. 自社スタッフによるサービスの差別化

2. 物流及び流通加工の迅速な対応

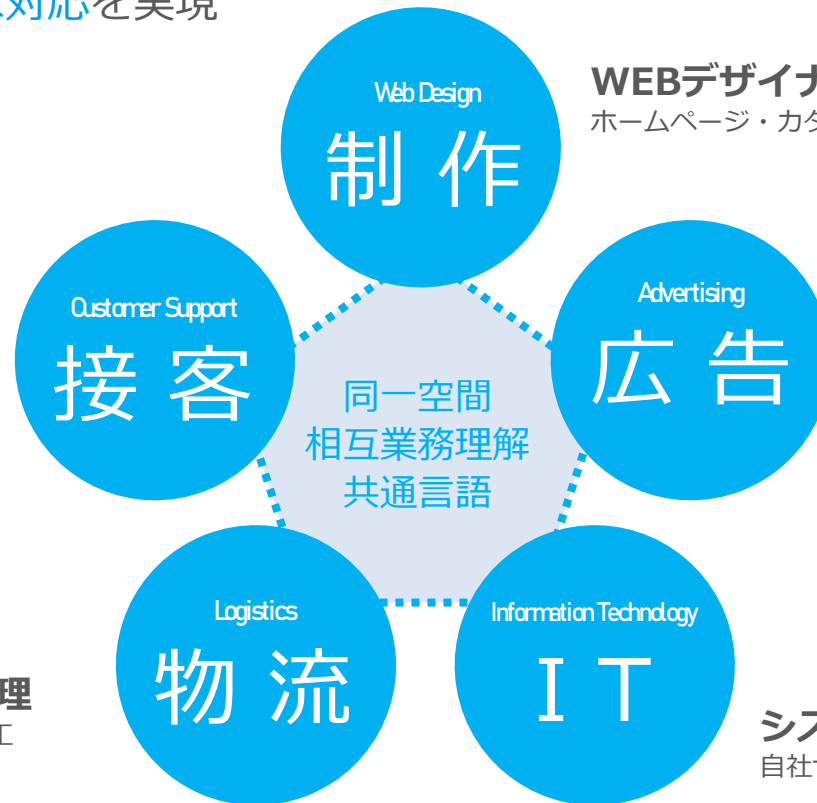
3. 人気商品に絞り込む在庫戦略

EC通販に関する殆どの業務の内製化と
同一拠点に集約することで部門連携による
スピーディーで高品質な対応を実現



コールセンター
注文・問合せ対応

物流管理・加工管理
在庫管理・荷役・流通加工



WEBデザイナー
ホームページ・カタログ制作



SEMディレクター
SEO・WEB広告運用



システムエンジニア
自社サービス開発・業務効率化

- ✓ ホームページ・WEB広告のPDCAを高速回転
- ✓ お客様の声、コールセンターの要望を即座にホームページや広告、システム、在庫確保に反映
(例) キャンペーン内容の決定から最短30分で実行

定期的な勉強会を実施



商品勉強会

ユニフォームには、**生地質、色、サイズ、機能**など、必要且つ、わかりにくい情報が多く、商品勉強会が必要で、メーカ協力の下定期的に開催



メーカー展示会



商品加工勉強会



経営方針勉強会

その他、電話対応研修、商品知識研修、新入社員研修など充実

一朝一夕では成しえない、知識とノウハウの積みあげ

自社スタッフだからできる!

接客

ファンづくり対応

お客様の立場になって対応、期待を越える接客を常に心がける



制作

商品を選びやすいページ作成

お客様が、自分に必要な商品を安心して選べるページをつくる



広告

ニーズを汲み取った広告展開

仮説と検証を積み上げた、独自ノウハウで効率的な運用を図る

広告・<https://www.uniformnext.com/春夏作業服>

ワークユニフォーム【公式】 - 春夏用のカッコいい作業服通販
カッコいい春夏作業服を激安価格で販売。カタログ無料、刺繍・プリント加工もできます。

物流



- ✓ イレギュラーな要望に対応が可能
- ✓ 梱包や在庫管理の高品質化
- ✓ 重点商品を在庫し即出荷にも対応
※他社は原則受注仕入がほぼ

流通加工



- ✓ 刺しゅう・プリントなどの流通加工を、原則自社対応でスピード化
- ✓ 加工技術の積み上げ

地方ならではの低立地コストと、教育水準が高いことで実現

刺しゅう・プリント加工

自社加工により、受注から納品までのリードタイムを短縮、高品質な加工技術の提供を実現。ユーザーの満足度を高め、リピート率向上に寄与している。

刺しゅうとは？

商品の生地自体に文字やロゴなどを刺繍機で縫い付けていく手法です。



インクジェット転写プリント

インクジェットプリンターで印刷した転写ラバーシートを熱で圧着するプリントです。フルカラーで印刷できて細かい柄や色も表現できるのが魅力です。
※基本的にフチがつく仕様になります。



カッティング転写プリント

1枚のカラーカッティングシートを切り抜き、熱で圧着するプリントです。発色が良く、版を作らなくて良いため、少数枚のプリントに向いています。

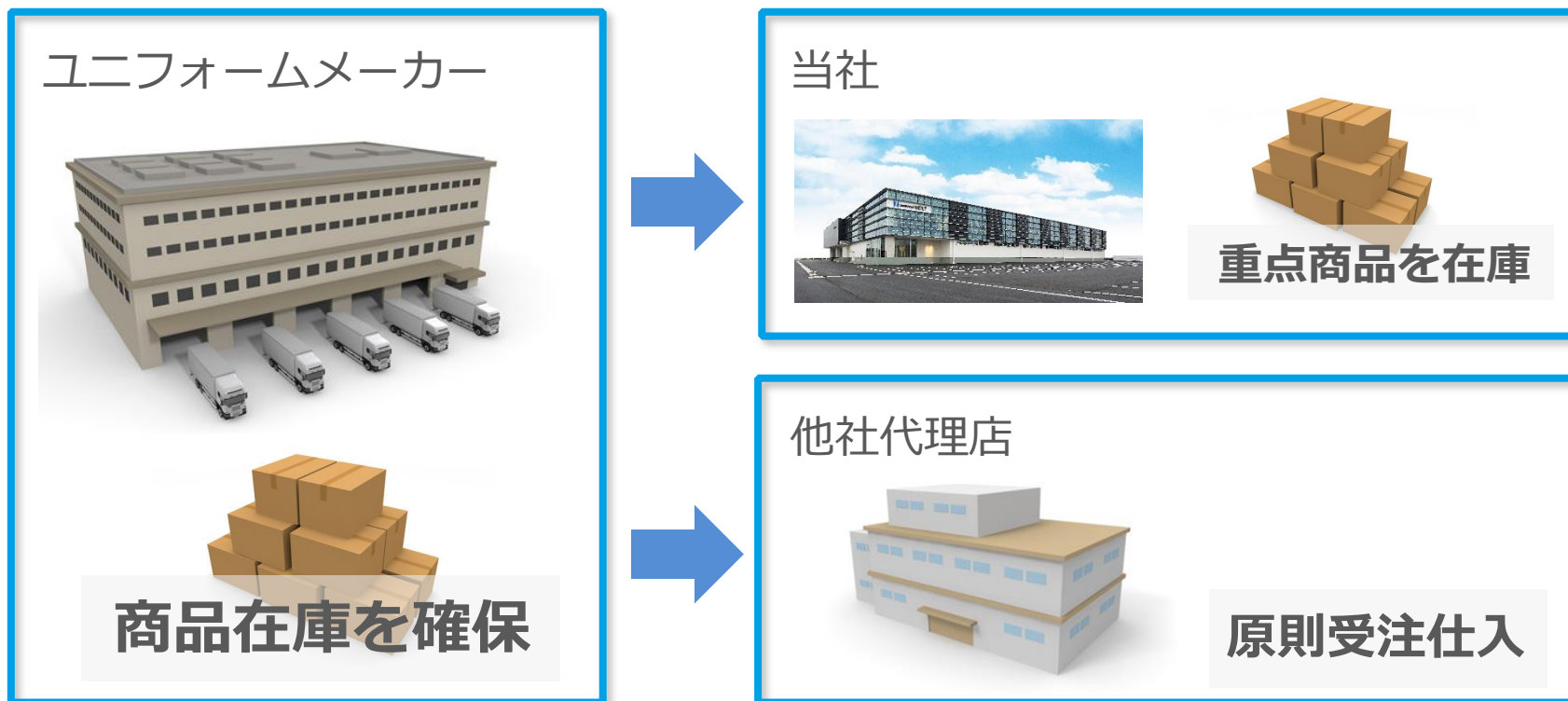


シルクプリントとは？

版を作成し、その上からインクを刷り込み、版画のようにプリントする手法です。一般的なプリント方法で、洗濯に強いという特徴があります。大量生産する場合、低コストで作成できます。（作成した版は2年間保管が可能です。）

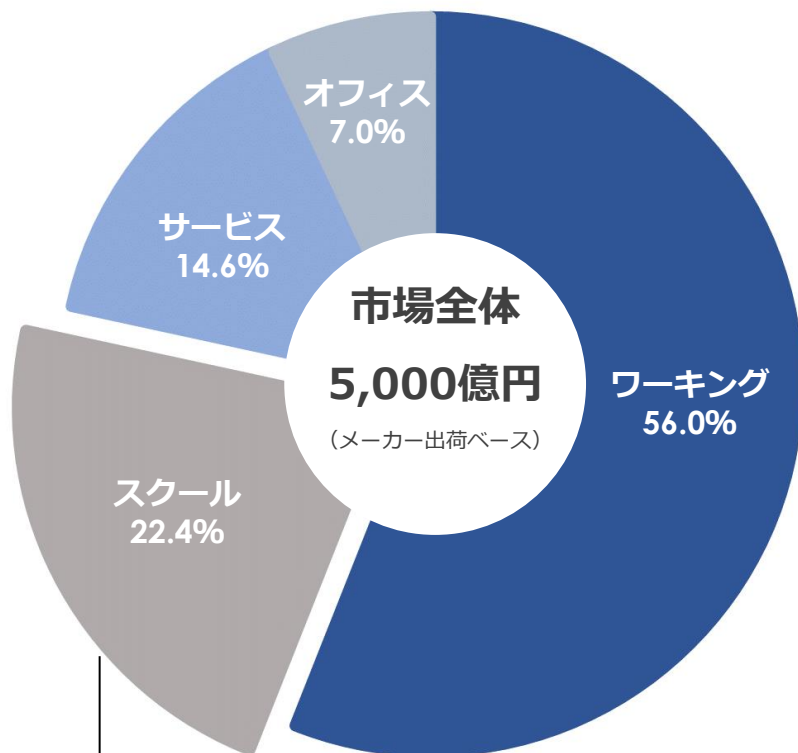


*シルクプリントは協力工場への外注になります



- ✓ 当社は売れる商品、人気商品を最長3カ月分確保、在庫回転期間約1カ月

当社が目指す、ユニフォーム通販市場のシェア拡大の対象は、将来的にはユニフォーム市場全体になるが、まずは中小企業者向け市場に集中



※当社はスクールユニフォームの取扱なし

* 矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑2021」

- ワーキング・サービス・オフィス向けユニフォームの市場規模 (メーカー出荷ベース) は、3,880億円**

* 矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑2021」から「スクール」を除いたもの
- 当社が扱う商材 (警備服等の特殊ユニフォームを除く) の市場規模は約50~60%の約2,000~2,400億円**

* 当社推定 (矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑2021」より)
- その内、中小事業者向けの市場規模は約40~50%の約1,100億円と見ている**

* 当社推定 (総務省「事業所・企業統計調査」(2006年) 従業者数より)
- 原価率を弊社平均の60%と仮定すると、販売価格ベースの中小事業者向け市場規模は、約1,800億円となる**

* 当社推定 (メーカー出荷ベースの中小事業者向け市場規模1,100億÷原価率60%)
- BtoB全体のEC化率は35.6%、業務用ユニフォーム業界は訪問営業が主体であるため、EC化率は全体より低く約17%と推定。EC化率上昇の余地がある**

* 経済産業省「我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備 (電子商取引に関する市場調査) 報告書」から引用

ユニフォームネクスト		ユニフォーム通販他社	大手ネット通販
<p>商品知識の豊富な自社コールセンタースタッフで電話、メール対応。商品や注文への問い合わせに迅速に回答。</p>	<p>顧客対応</p>	<p>問い合わせはフォーム、メールへの誘導。返答まで時間を要する。</p>	<p>問い合わせはフォーム、メールへの誘導。返答まで時間を要する。</p>
<p>特徴のある商品、売れると判断した商品に絞り込んで掲載。差別化された商品で選びやすい。</p>	<p>商品構成</p>	<p>掲載数優先、殆どの商品を掲載。1つ1つの情報量は薄くなり、特徴も見えにくくなる。</p>	<p>掲載数優先、殆どの商品を掲載。1つ1つの情報量は薄くなり、特徴も見えにくくなる。</p>
<p>中小企業を対象。納品スピードや商品提案、安心感のある対応を求める層。</p>	<p>ターゲット</p>	<p>中小企業を対象。提案を必要としない、納品スピードも求めない層。</p>	<p>提案や商品加工を必要としない単品中心の個人層。</p>
<p>売れ筋商品を中心に、全サイズを揃えられるよう在庫確保。加工は自社加工場でローコスト、短納期、高品質を実現。</p>	<p>在庫・名入れ加工</p>	<p>在庫は基本持たず、仕入発注を都度行う。加工は外注により可能。コスト、納期が増加。</p>	<p>一部売れ筋サイズを在庫備蓄。加工は一部限定した商品のみ可、もしくは不可。</p>
<p>ユニフォーム購入に最適化された専門性の高いページ。自社開発で柔軟性が高く、改善スピードも早い。</p>	<p>ホームページ・カート</p>	<p>ユニフォーム購入に特化しており専門性はあるが、パッケージのカートシステムで制限が多い。</p>	<p>汎用的なカート、注文ページ。ユニフォーム購入には最適化されていない。</p>



事業計画

リピーター対策で安定した収益基盤を形成

ユニフォームはリピート商材

- ・揃えて着用することに意味がある
- ・企業やお店のイメージになる
- ・ほとんどの業種で消耗品
- ・着心地や機能を重視
- ・顧客に合わせた加工がある

メルマガやハガキで顧客フォロー



メルマガ

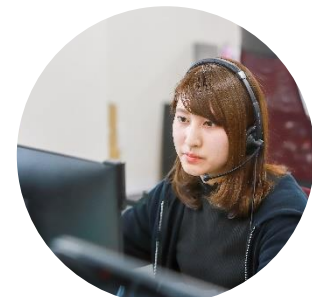


DM



ハガキ

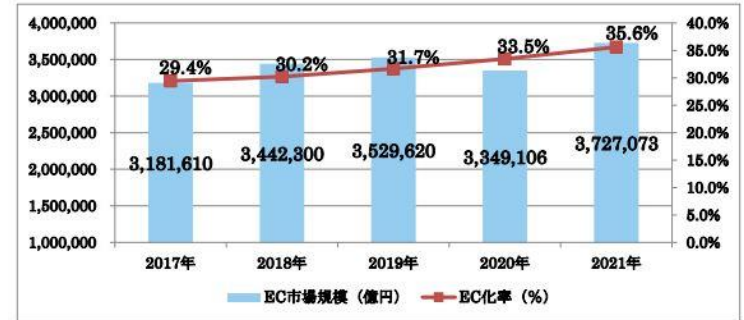
システム導入による効率化で、接客対応の充実化を図る



ユニフォームEC化率の向上

他分野のB to B取引におけるEC化率と比較し、ユニフォーム業界におけるEC化率は低い

■ BtoB-EC 市場規模/EC化率の推移



出所：経済産業省「内外一体の経済成長戦略構築にかかる 国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）」

ユニフォーム業界のEC化率の拡大

- ・ 商取引における将来的なEC化傾向による拡大
- ・ 後継者不足による代理店廃業増加による拡大
- ・ 当社独自の取り組みによる拡大

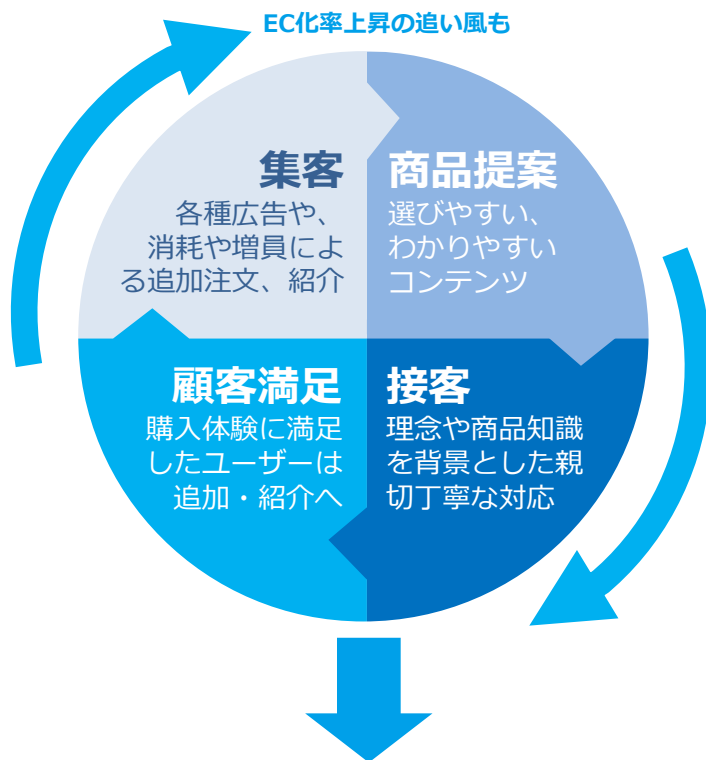


DMカタログ



WEB広告

ユニフォーム業界のEC化率の拡大とともに、当社の成長が見込まれる



KPI : アクティブユーザー数の増加

※直近2年間で1回以上ご注文いただいたお客様

自社スタッフやシステム開発による
良質な購入体験の提供を通じて、
顧客数の拡大 = アクティブユーザー数
の増加を図る。

※ユニフォームは消耗品に近く、リピート性が高い商材。
そのため、顧客数を拡大することでリピート購入増加を狙う。

■ 2022年12月期

実績AU : 271,911 (予想AU : 318,015)

受注増に伴う新規AU増加は順調であったものの、感染拡大の影響による廃院・廃業等を通じてAUの離脱（前回注文から2年経過）も増加したことにより、AU総数は伸び悩んだ。



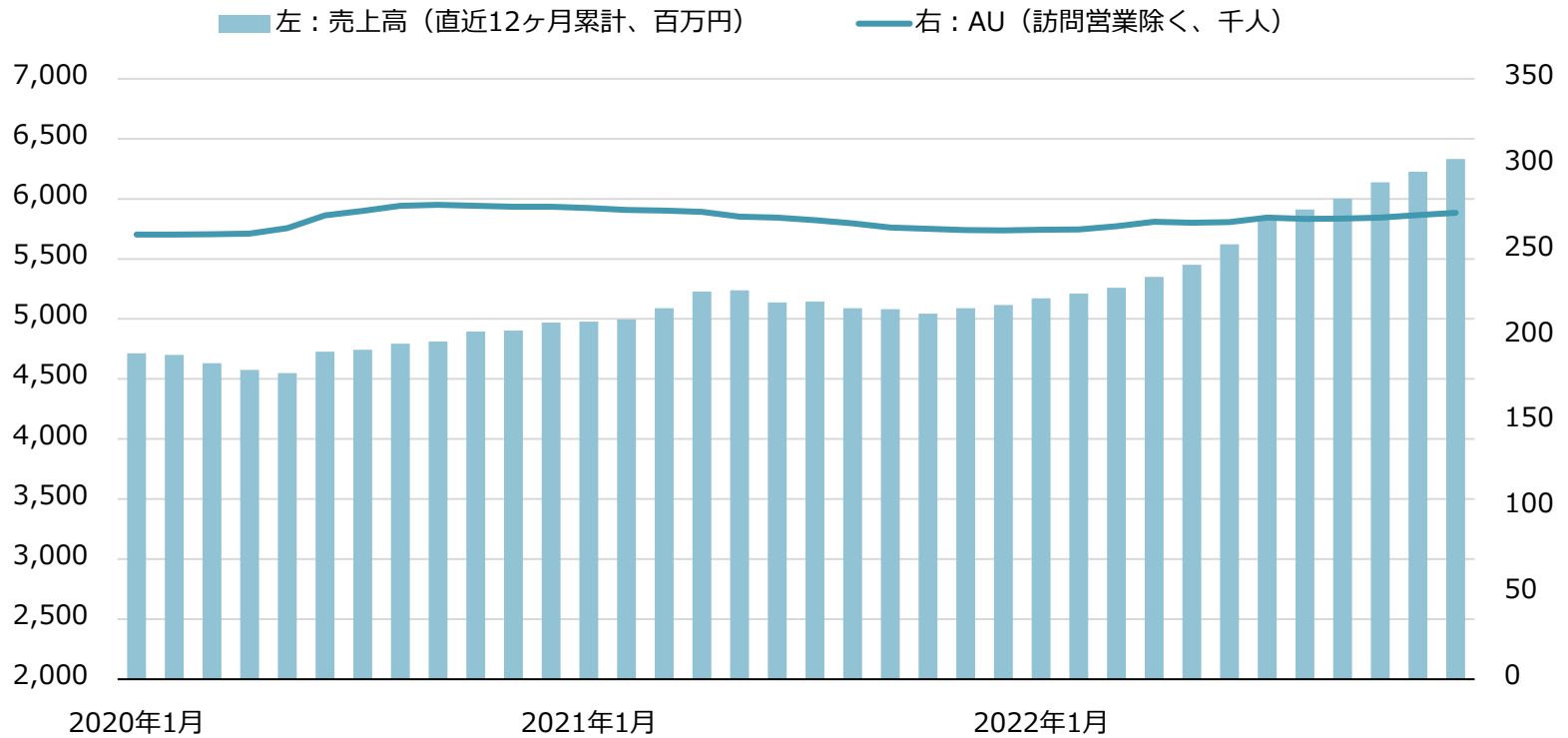
■ 2023年12月期

目標AU : 300,783

メルマガ等を中心としたファンづくり施策で離脱の削減、離脱後復活の双方からアプローチし、AU10%増につなげる。廃業等による離脱も継続して一定数見込まれることから目標AUは前年目標から引き下げた数字で設定。

※2023年12月期は3月に開示予定

AU（アクティブユーザー）と売上推移



※AU：直近2年間で1度以上注文いただいたお客様

2021年12月：261,658 2022年12月：271,911

売上高

6,333百万円（前年比23.8%増 予算比102.5%）

- ▶コロナウイルス感染拡大の影響も少なく、DMカタログやWEB広告の積極的な投資により、新規顧客の増加に繋がった。また、6月の早期梅雨明けによる猛暑時期の長期化でファン付き作業服を中心とした夏物作業服カテゴリ等の売上が伸長。この夏季に獲得した顧客に対し、メールマガジン等で効率的な販促を行うことにより、秋冬シーズンの作業服や防寒服が好調に推移。

売上総利益

2,349百万円（前年比23.3%増 予算比101.9%）

- ▶プロダクトミックス変化が落ち着くことで粗利率は下げ止まると見込んだが低利益率商品の比率上昇により利益率が若干の低下。

販売管理費

1,947百万円（前年比25.5%増 予算比100.9%）

- ▶市場シェア確保のために積極的に広告投資を行ったことにより広告費は増加したもののシステム改修による業務効率化で人件費増加が抑制されたこと等により販管費全体では予算通りの着地。

営業利益

401百万円（前年比13.4%増 予算比106.8%）

当期純利益

276百万円（前年比18.6%増 予算比110.9%）

<販売施策>

- ・ ECサイト上でユーザー属性ごとに最適な提案を行う**WEB接客ツール**の導入開始
- ・ **ファン付き作業服**売上実績が**前年比200%超**の大幅増
※商品管理グループ始動による企画連動性の向上、マーケティング部門全体での適時適切な販促実施により販売が伸長
- ・ WEB通販部門でのアウトバウンドコール強化による、顧客の囲い込みの強化
- ・ ホールセールの体制強化による**大口受注の更なる増加**
(オリジナル加工デザインの提案強化)
- ・ 自社独自のプリント加工技術のサービス化についてはホールセールで導入試験中

<組織・システム>

- ・ エンジニアの増員、オフショア開発導入による、**システム開発スピードの上昇**
- ・ **商品管理グループの創設**（昇格）による欠品率の抑制、企画との連動性向上
- ・ 役職の一部廃止、役割へのシフトによる**ティール組織化の継続**

売上高

7,696百万円（前年比21.5%増）

- ▶引き続き、売上の増強による「市場シェアの拡大」をテーマに、積極的な広告運用とファンづくり施策を通じたアクティブユーザーの増加に注力する。
- ▶マーケティング：獲得した顧客へのメールマガジンによる効率的なサイトへの誘引、誘引先のWEBページの強化や、ブランドイメージの構築により新規獲得会員のリピーター化、CVRの改善に取り組む。在庫管理では在庫欠品予測システムの導入で欠品率低下を図る。
- ▶営業部門：ホールセールは業種担当からエリア担当への切り替えで、営業活動の集中と効率化に着手。WEB通販部門はアウトバウンドコールの強化を図り、高単価の受注を取り込む。

売上総利益

2,849百万円（前年比21.3%増）

- ▶プロダクトミックス変化が落ち着き、粗利率は下げ止まる

販売管理費

2,346百万円（前年比20.5%増）

- ▶原料高騰に伴う電気代の上昇など、一部費用の上昇は見られるものの売上の増加により各項目の売上比率は大きく変動しない、もしくは微減。
人件費比率（10.1% → 10.0%）
広告宣伝費比率（10.7% → 10.6%）

営業利益

502百万円（前年比24.9%増）

当期純利益

338百万円（前年比22.3%増）

<販売施策>

- WEB接客ツールの積極的活用や接客待遇の品質向上により、
リピート率やNPS（ネットプロモータースコア）の向上を目指す
- ユニフォーム管理サービスを始めとする、顧客の利便性を高め、
ワークライフをハッピーにする**新サービス（SaaS）の土台作り**
- 顧客属性（購入時期や規模等）に応じた施策で**アクティブユーザー10%増加**を図る

<組織・システム>

- **物流倉庫の増築（10月稼働）**により、在庫保管能力が従来の**2倍**に向上
- 在庫欠品予測システムの導入により、**欠品率の低下**を図る
- 短日短時間正社員、ダブルジョブ（社内副業）、副業制度（社外）など
多様性のある働き方やティール組織への変換で、**エンゲージメントを上昇**させる



・ 2023年10月から稼働予定の物流倉庫増築イメージ（左側が増築部分）



補足資料

当社事業において、投資者の判断に特に重要な影響があると考える主要なリスクを抜粋

	リスク	顕在化の可能性/時期/影響	対策
インターネットへの依存について	当社は、売上高の約9割はインターネット通信販売によるものになっております。また、販売促進活動に関しては、カタログ等の配布のほか、インターネットを通じた広告掲載を主要な手段としております。今後、インターネットの利用に関する新たな法的規制の導入、技術革新の遅れ又は利用料金の改定を含む通信事業者の動向などの要因により、インターネット環境の発展が阻害される場合には、当社の財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	可能性/低 時期/中長期 影響/中	インターネット及び電子商取引を取り巻く法的規制の改正又は利用者や関連事業者へを規制対象とする法令等の制定や自主規制が求められる場合に備え、迅速な対応が行えるよう常に情報収集に努めております。
異常気象による影響	当社で取り扱う商品には、天候により販売数量が大きく左右される季節商品や雨具類が含まれております。そのため、販売時期に冷夏・暖冬・空梅雨など異常気象が発生した場合、売上の減少や過剰在庫などを招き、当社の財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	可能性/中 時期/短期 影響/大	天候を含めた需要予測の精度向上により過剰在庫を抑制し、季節性の少ない商品カテゴリの増強を図ることで売上への影響を減じるよう努めております。
新型コロナウイルス感染症の影響	当社で取り扱う商品には、飲食店カテゴリで飲食店制服やイベント用商品があります。そのため、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い飲食店の営業自粛やイベント中止が発生する場合、飲食店カテゴリを中心に売上への影響が出る可能性があります。	可能性/低 時期/不明 影響/中	感染症の影響が少ない他カテゴリへの社内リソースシフトにより、影響を極力減じるよう努めております。

※その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

免責事項

この資料は皆様の参考に資するため、ユニフォームネクスト株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。（適時開示基準該当を除く）